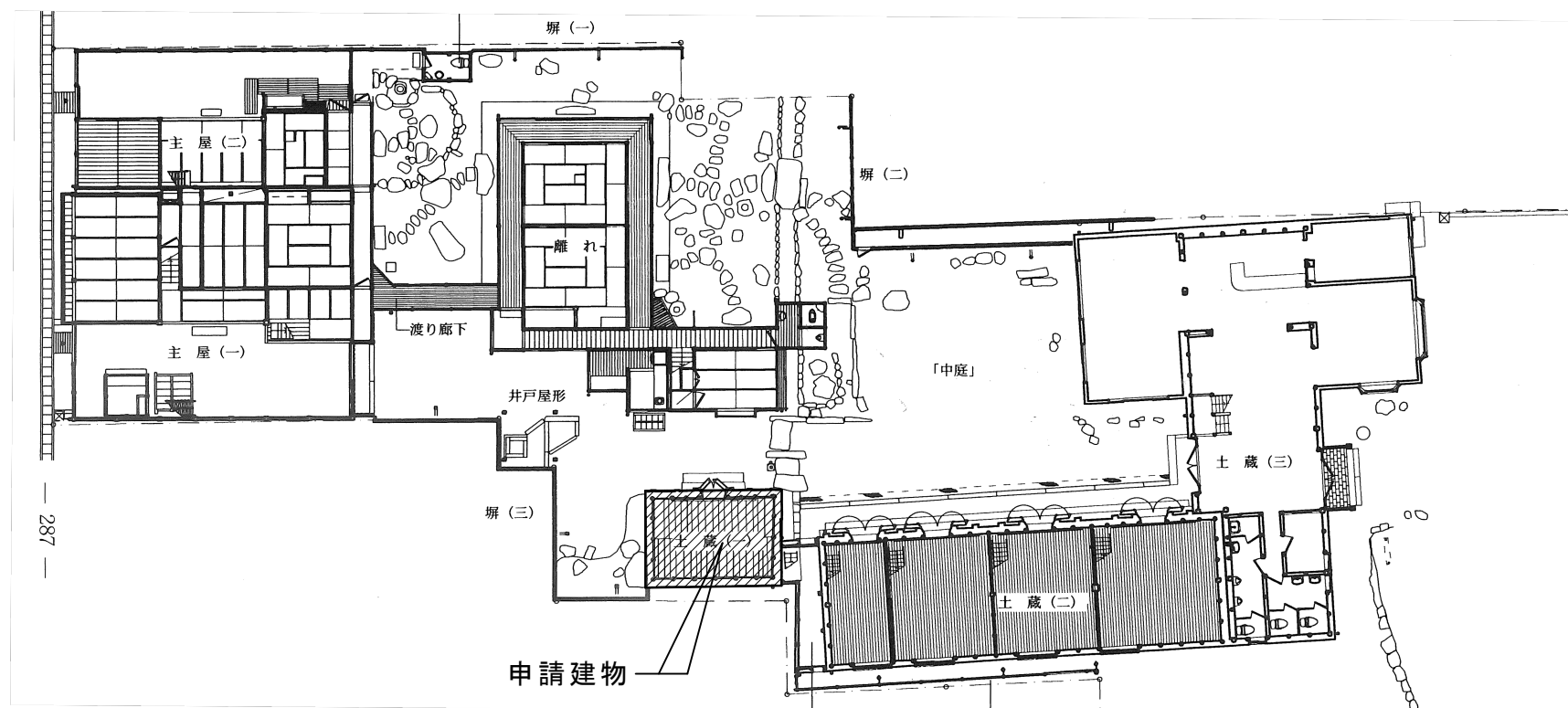


案 内 図

屋根	既設	大屋根：いぶし瓦土葺（解体撤去保管再利用）下地土撤去再利用 化粧野地板 t9・杉皮撤去処分 下屋：いぶし瓦土葺（解体撤去保管再利用）下地土撤去再利用
	改修	大屋根：いぶし瓦土葺（古瓦再利用：清掃検査）不足分新設（規格外）化粧野地板 t12・杉皮新設 下屋：いぶし瓦土葺（古瓦再利用：清掃検査）不足分新設（規格外）
軒裏	既設	大屋根：漆喰塗籠 一部解体（瓦工事に伴う部分および崩落部分） 下屋：漆喰塗籠（垂木R型） 一部解体（瓦工事に伴う部分）
	改修	大屋根：漆喰塗籠 一部補修（瓦工事に伴う部分および崩落部分） 下屋：漆喰塗籠（垂木R型） 一部補修（瓦工事に伴う部分）
外壁	既設	1F:漆喰壁 一部海鼠壁、簷子下見板張り 2F:漆喰壁
	改修	1F:漆喰壁補修（図示）一部海鼠壁補修（図示）、簷子下見板張り（現況のまま） 2F:漆喰壁補修（図示）
樋	既設	大屋根：軒樋 塩ビ被覆樋 W120 撤去処分 受け金具：撤去保管 縦樋：塩ビ製 60φ 撤去処分 下屋：軒樋 塩ビ被覆樋 W105 撤去処分 受け金具：撤去保管 縦樋：塩ビ製 60φ 撤去処分
	改修	大屋根：軒樋 銅製（サク）W120、集水マス共 新設 受け金具：既設再使用（清掃塗装） 縦樋：銅製（サク）60φ 新設 下屋：軒樋 銅製（サク）W105、集水マス 新設 受け金具：既設再使用（清掃塗装） 縦樋：銅製（サク）60φ 新設
その他	既設	
	改修	



配置図 S=1 : 300

		特記	訂正	NPO法人 いわむらでんでんけん 一級建築士事務所 岐阜県 登録 第12273号 一級建築士 登録番号 第121055号 水野 泰昭 恵那市岩村町本町209番地4 TEL 0573-32-1263 承認 担当 製図	工事名称 市指定文化財勝川家土蔵一修理工事 図面名称 案内図・配置図 縮尺 S=1:300 仕上げ表	図面No. A-01 令和 7年 2月
--	--	----	----	--	---	-------------------------------

建築工事特記仕様書（恵那市指定文化財修理）

項目

工事概要

1. 工事名称

2. 工事場所

3. 工期

4. 構造規模

特記事項

恵那市指定文化財「勝川家土蔵1改修工事」

岐阜県恵那市岩村町

年月日年月日

名称	構造	階数	現状		修理後	
			切妻平入 日本瓦葺	床面積	切妻平入 日本瓦葺	床面積
土蔵1	木造	2階建て		37.50㎡		37.50㎡

標準仕様

a 通則

①適用範囲

②用語の定義

③質疑の解釈

④現場の納まりなどの軽微な変更

⑤官公署その他への手続き等

⑥提出書類

⑦法令の遵守

⑧発生材の処理

⑨資材等の運搬

⑩住民に対する広報等

イ この工事は、仕様書および図面に記載された事項（以下「特記」という）による。
ただし、質疑事項の回答書は、この仕様書に優先するものとする。
ロ 特記以外の事項については、「建築工事共通仕様書J(国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修)最新版による。
ハ 標準仕様書、特記仕様書および図面(以下「設計図書J」という)に記載のない事項でも、
工事完成のために必要と認められたものについては、施工者の責任において施工する。

イ 監督員・検査員とは、工事請負契約書の規定に基づき発注者が通知した監督員・検査員を言う。
ロ 係員とは、事業主が設計監理業務を委託した監理者を言う。
ハ 指示とは、事業主の発議により、係員が請負者に対し、係員の掌握事務に関する方針・基準・計画などを示し実施させることを言う。
ニ 承諾とは、請負者側の発議により、請負者が係員に報告し、係員が了承することを言う。
ホ 協議とは、係員と請負者とが対等の立場で合議することを言う。
ヘ 現場代理人とは、工事請負契約書の規定に基づき請負者が通知した現場代理人を言う。

設計図面に疑義を生じた場合は、あらかじめ係員の指示を受けるものとする。

現場の納まり、取り合わせなどの関係で、材料・寸法・取付位置または取付工法等を多少変え、あるいはこれらによって取付数量を幾分増減するなど変更の軽微なものは、係員と協議の上施工すること。このときは設計変更を行わない。

イ 工事施工に必要な関係官公署等への手続きは、請負者において迅速に処理しなければならない。これらの手続きに要する費用は、請負者の負担とする。
ロ 関係官公署・付近住民などに対して交渉を要するとき、または交渉を受けたときは、速やかにその旨を係員に申し出て協議するものとする。

請負者は、係員が別に示す書式により、指定する期日までに関係の書類を提出しなければならない。(後記の提出書類一覧参照)

請負者は、工事の施工に当たり、労働安全衛生法・建設業法等諸法令に定める工事に関する諸法規を遵守し、工事の円滑な進捗を図らなければならない。なお、諸法令の運営適用は、請負者の負担と責任において行うこと。

イ 工事の施工に伴い生じた発生品(以下「発生材J」という)のうち、特記または係員の指示により引き渡しを要するものは、指定する場所で書類を添えて係員に引き渡すこと。
ロ 発生材のうち引き渡しを要しないものは、すべて場外に搬出し、関係法令等に従い、請負者の責任において適切に処理しなければならない。

請負者は、資材等の運搬に当たり、積載超過のないように行わなければならない。通行の際は歩行者に細心の注意を払い徐行すること。

請負者は、施工の方法等が周辺住民や通行者に影響を及ぼすおそれがある場合には、協力を求めるための広報など必要な措置を講じなければならない。

項目

b 工事現場管理

①現場代理人及び主任技術者等

②労働災害の防止

③工事現場の保安

④災害及び公害等の防止

⑤公衆災害の防止

⑥事故発生時の措置

⑦養生

⑧関係書類の常備

⑨現場の整理整頓

⑩喫煙

⑪後片付け

c 施工管理

①実施工程表

②施工計画書

③施工図・原寸図等

④施工の確認・立会

⑤工事の報告及び記録

⑥工事記録

d 材料

①概要

②補足材

③搬入報告

④材料検査

⑤材料保管

参考

工事現場の管理運営に必要な知識と経験を有する者とする。
ロ 工事の施工に関して主任技術者等または専門技術者を置く場合は、工事現場内の権限について現場代理人との関係等を明確にしておくこと。

工事現場における安全衛生については、現場代理人が責任者となり、関係法令等に従い必要な措置を講ずるなど、常に工事の安全に留意して現場管理を行い、労働災害の防止に努めなければならない。

請負者は、工事現場への労働者・その他関係者の出入りを適切に管理し、火災・盗難・その他の事故の防止に努めなければならない。

工事の施工に伴う災害及び公害の防止並びに風水害対策については、関係法令に従い適切な措置を講ずること。

請負者は、公衆の生命・身体及び財産に関する危害及び迷惑を防止するため、現場に仮囲い・危険標示の設置、または交通整理員の配置など交通及び保安上必要な措置を講じなければならない。

請負者は、工事施工中、工事の実施に影響を及ぼす事故・人身に損傷を生じた事故または第三者に損害を与えた事故が発生したときは、直ちに応急処置等所要の措置を講ずるとともに、事故発生の原因及び経過、事故による被害の内容等について、速やかに係員に報告しなければならない。

請負者は、工事の施工済み部分・既存部分・未使用機器・材料等で、施工中汚損または破損するおそれのあるものは、適切な方法で養生をすること。

請負者は、工事に係る関係書類を備え、係員が随時閲覧できるように整理しておくこと。

工事の施工中、機械器具・材料等は、保安上の妨げにならないよう使用の都度整理し、不要のものは場外に搬出するなど、工事現場の整理整頓に努めること。

工事現場内での喫煙は、休憩所等係員の指定する場所のみとし、他は建物内外いっさい禁煙とする。また、工事現場内の要所に『禁煙』の標示板を取り付ける。

請負者は、工事の完了に際し、工事現場及びその関連する部分の後片付け及び清掃を行うこと。

イ 請負者は、工事現場において着工するのに先立ち、工事実施に必要な工程表(以下「実施工程表」)を作成し、係員に提出すること。ただし、軽易な工事については係員の承諾を受け、提出を省略することができる。
ロ 実施工程表上の工程及び工程内容等に変更の必要が生じ、その内容が重要な場合は、変更実施工程表については上記イと同様とする。
ハ 係員の指示により、実施工程表を補足する週間または月間の工程表及び工種別工程表その他を作成し、提出すること。

イ 着工に先立ち、仮設物・足場・工用機械器具設備・資材置場・廃材置場等についての施工計画書を作成し、係員に提出すること。
ロ 各工種別に材料・工法等を具体的に定めた施工計画書を作成し、係員に提出すること。ただし、軽易な工事については、係員の承諾を受け提出を省略することができる。

請負者は、施工図・製作図・加工図・原寸図等を必要に応じて速やかに作成し、係員に提出すること

イ 請負者は、工事の進捗が主要な工事段階の区切り、または係員と協議して定めた工程に達したときは、係員の確認を受けて次の工程に移行すること。
ロ 係員が指示する場合には、係員の立ち会いを受けること。

イ 工事の進捗状況など現場の状態を係員の指示により報告すること。
ロ 請負者は、係員が指示した事項及び係員と協議した事項について正確に記録し、これを系統的に整理すること。

イ 請負者は、工事全般にわたって工事の記録写真撮影を行い、係員が随時閲覧できるように整理 編集するとともに、工事完了時に写真帳として提出すること。
特に、工事完了後に撤去または隠蔽され確認不可能となる部分については、設計図書通り施工されていることを確認できるように、主要な部分を撮影すること。
ロ 写真撮影はネガカラーフィルムまたはデジタルカメラ撮影を行うこと。

本工事に使用する材料は、仮設材料及び特に記載されたものの他は、すべて日本産の新品とし、特注品は在来仕様の見本品及び図面により作成し、木材については樹種・材質とも在来のものに倣うことを原則とする。 ただし、係員の承諾を持って代替品を使用することが出来る。

各工事の補足材は設計図書の数量・寸法によるが、発注前に確認し、係員の承諾を受けること。

請負者は、材料搬入の都度、その材料が設計図面に定められた条件に適合することを確認し、必要に応じ証明となる書類を添えて、係員に速やかに報告すること。
ただし、軽易な材料については事前に係員の承諾を受け、報告を省略することができる。

各種材料については、別に定める材料検査の実施基準に基づき検査を受け、合格したものを使用すること。また、不合格品については速やかに場外に搬出し、代品を納入して工事の進行に支障をきたさないようにする。

検査に合格した材料は、請負者の責任において良好な状態で保管し、湿気・盗難・火災等に対して十分に対策を講じること。

工事の施工に当たり、関係する法令等のうち、いくつかを参考として例示する。
・建築基準法(昭和 25年法律第 201号)
・建設業法(昭和 24年法律第 100号)
・道路交通法(昭和 35年法律第 105号)
・騒音規制法(昭和 43年法律第 98号)
・振動規制法(昭和 51年法律第 64号)
・消防法(昭和23年法律第 186号)
・文化財保護法(昭和 25年法律第214号)
・電気事業法(昭和39年法律第 170号)
・労働基準法(昭和 22年法律第 49号)
・労働安全衛生法(昭和 47年法律第 57号)
・労働者災害補償保険法(昭和 22年法律第 50号)
・中小企業退職金共済法(昭和 34年法律第 160号)
・廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和 45年法律第 137号)
・建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成 12年法律第 104号)
・都市計画法(43年法律第 100号)(風致地区)

提出書類一覧詳細については、監督員・係員と協議する。

着工時 1.着工届

2.主任技術者・現場代理人届

3.工事工程表、仮設施工計画図

4.下請人届

5.現場管理組織表及び災害緊急連絡表(工事中)

工事中 1.月間工程表

2.資材搬入報告書、同検査願

3.各種施工図、施工計画書

4.工事打ち合わせ記録簿

5. 工事前写真、工事中写真完了時(各年度毎)

完了時 1.工事日報

2.工事写真(工事中、竣功)

3.各施工図、承認図、保証書、証明書

4.工事完成検査願、完成届

5.その他監督員・係員が指示する書類

特記

訂正

.....

.....

.....

.....

.....

NPO法人 いわむらでんでんけん

一級建築士事務所 岐阜県 登録 第12273号 一級建築士 登録番号 第121095号 水野 泰昭

恵那市岩村町本町209番地4 TEL 0573-32-1263

承認 担当 製図

工事名称

市指定文化財勝川家土蔵一修理工事

図面名称

勝川家土蔵1_特記仕様書_①

縮尺

.....

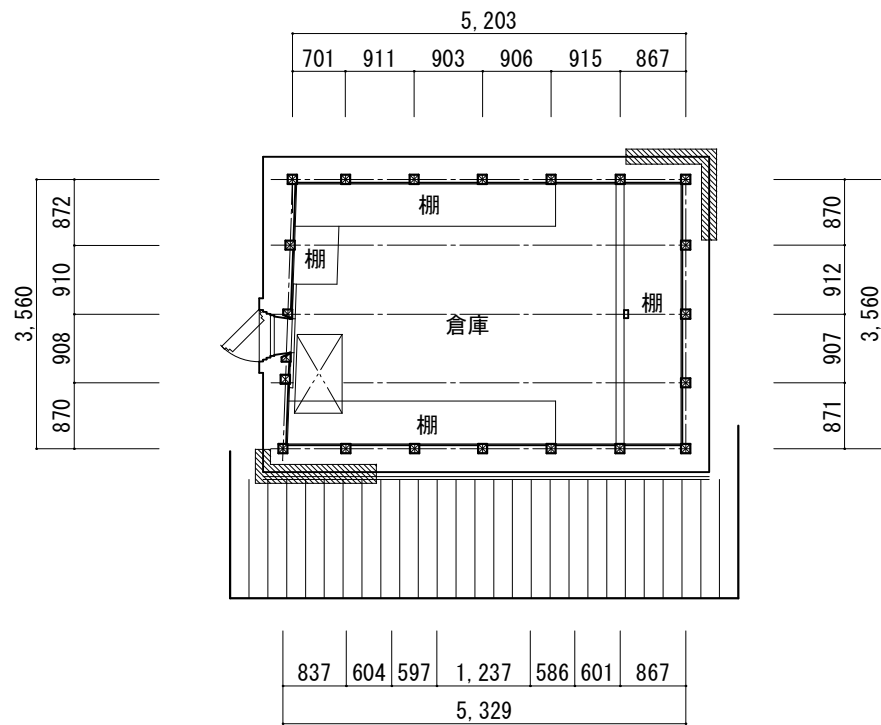
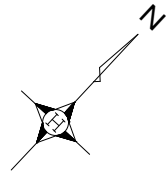
図面No.

A-02

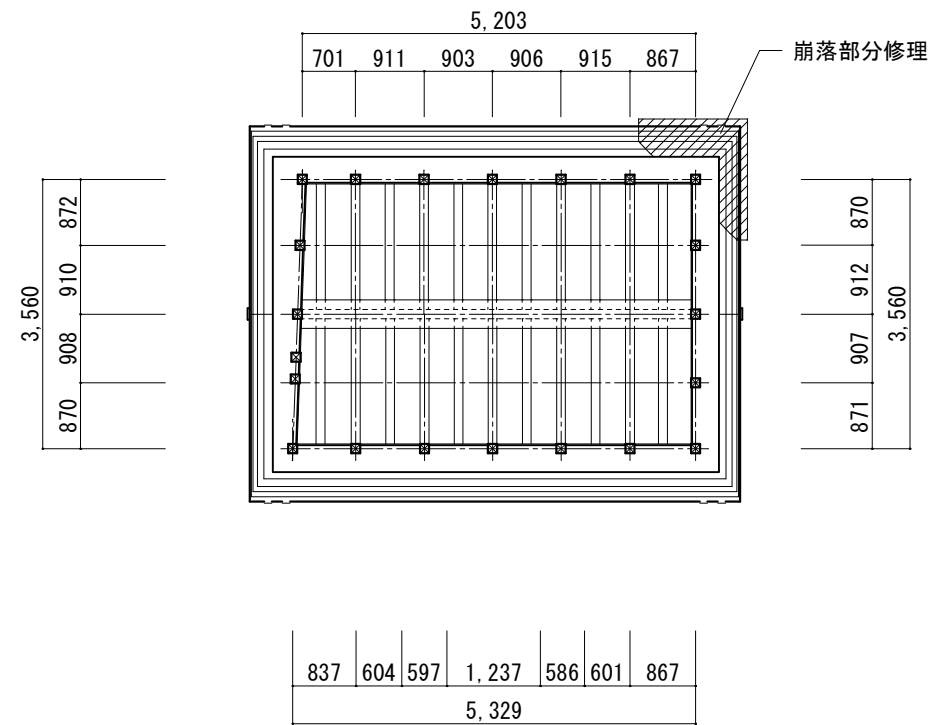
R 7年 2月

建築工事特記仕様書（恵那市指定文化財修理）			
項 目		特 記 事 項	
特 記 仕 様			
a通 則			
①総則		イ 本工事は、恵那市指定文化財の工事であるので、文化財保存の意義、および、その手法を十分理解し、工事に際しては細心の注意をはらい施工する。 この仕様書は概要を示すものであって、記載外の事項または疑問を生じた場合は、すべて係員の指示に従い施工する。 なお実施にあたっては、さらに詳細な実施仕様を定めて施工する。ただし、原設計仕様を変更する必要がある時は、ただちに契約変更の手続きをする。 施工中は随時係員による調査記録を行うため、現場代理人を初めとする施工関係者は充分これに協力すること。	
		ロ 特記以外の事項については、（社）公共建築協会発行の「建築工事共通仕様書」最新版による。	
		ハ標準仕様書、特記仕様書及び図面（以下「設計図書」という。）に記載のない事項でも、工事完成のために必要と認めるものについては、施工者の責任において施工する。	
②材料検収		工事に使用する一切の材料はすべて検査員が検査を行い、合格したものを使用する。	
③施工図		各種工事は着手前に施工図を作成し、係員の承認を得た後、施工する。	
④材料保管		使用する材料で検査員の検査に合格したものはすべて良好な状態で保管し、湿気・盗難・火災に対し十分な対策を講ずるものとする。	
第2章 仮 設 工 事			
①計画		1. 下小屋 単管組立雄形亜鉛鍍鉄板張とし、底は枕木等により地表面より 20cm以上あげる。（・設置する ○設置しない）	
2. 足 場		外部足場は枠組み本足場、単管足場（以上防災シート掛）、脚立足場 内部足場は単管棚足場、脚立足場とする。	
3. 屋根養生		仮設屋根（亜鉛鉄板葺き）を設置する。施工期間中雨漏りが生じないよう充分留意する。	
4. 水盛・遣方		基準通ひ、レベルは係員の指示による。主要墨出は係員の承認を受ける。。	
5. 焼 印		取替部材見隠部には修理年号を記した刻印を押す。文字は 「令和〇〇年修理新補材」とし、大きさは 25×70程度とする。	
6. 清掃・片付		各工程ごとに充分清掃すること。特に見隠れ部分は丁寧に施工する。	
7. 搬出入場所		工事に必要な搬出入場所を仮設計画に基づき確保する。	
8. 材料、既存物の保管		解体工事に伴い材料を保管する場所を確保する。	
第3章 解 体 工 事			
1. 調 査		解体前、および、解体工事中に実測調査、写真撮影、痕跡調査、資料調査を行ない、緒記録をとり、設計見直しをするので、施工者及び施工関連者はこれに十分協力する。 解体調査は、各工程段階により行うものとし、各工程毎に係員の承認を受けるものとする。	
2. 番 付		解体材には解体前、または、解体工事中に、各部材毎に木製の番付札を取付、礎石等の石材に見隠部に布テープ貼等を施む番付を付す	
3. 養 生		既設部材は損傷なきよう充分留意すること。垂直養生は防災シート掛とする。	
4. 解 体		解体範囲、解体手順は係員の指示による。解体はすべて手壊しとし、各部材は破損ないよう丁寧に取外す。	
5. 解体部材保存		取外し部材は、係員の指示により部屋別・部位別等に区分し、必要に応じて現場内の所定の場所に格納する。各部材は、地表面に防護シートを敷いたうえ、枕木等で地表より 3 0cm以上あげ保存する。 また、汚損等ないよう取扱いは充分注意する。	
9. 廃 棄		係員の承認なしに一切の部材を破棄しない。係員の承認を受けた不用品材は、指定の場所に処分する。	
第4章 基 礎 工 事			
1. 地 業		布掘り、および、壺掘り所定の深さまで掘り下げる。根伐底は攪乱しないように充分留意し、平坦に鈎取る。栗石小端立てに敷並べ、目潰し砂利を入れ、大蟻で掻き固める。 埋戻土は充分つき固める。残土処分は場外処分とする。	
2. 礎石・東石		原則として既設礎石、東担は現状通りとする。土台、桂脚と伺レベル調整は根継ぎ長さや盤木または鉛板によるものとし、詳細は係員の指示による 新規補足礎石は240φ内外の地場石、東石は210φ内外の地場石(川原玉石)とし、割栗地業に良くなじませて据え付ける。	
3. コンクリート		布基礎・土間のコンクリート強度はF _c =21N/mm2×3Δとする。	
第 5 章 木 工 事			
1. 部 材		当初材はつとめて再用する。 新補材は既設材と同種材、旧形状とする。また、充分な乾燥材でくい、ひび割等ない材料とし、係員の材料検査を受ける。特に板材は乾燥養生充分に行う。	
2. 繕 い		取替え、補足部位は係員の承認を受ける。繕い修理に際しては当初の仕口や墨書などの、痕跡を消滅しないよう努める。不明の穴および、仕口の見掛り部、腐朽部は埋木、剝木等により繕う。 雨水のしみはアンモニアでしみ抜きを施す。一般のしみについては苛性ソーダ2－3滴ノ1Lの水でしみ抜きを施す。	
3. 補 強		構造上不完全と認められる部分は添木、金物等による補強措置を施す。施工方法については係員の承認を受ける。金物等で補強する場合は現場指示による。	
4. 部材加工		継手・仕口は在来通りとし、カンナ仕上面については、最終仕上げは必ず手カンナ仕上げとする。	
5. 組 立		旧状工法を踏襲する。組立手順は係員の承認を受ける。	
6. 不陸直し		土台取替え、柱根継ぎに際し建屋の水平垂直補正を行う。水平調整は盤木、鉛板、根継ぎ長さ等による。	
7. 釘、金物		使用金物は、係員の承認を受ける。釘打は手打とする。	

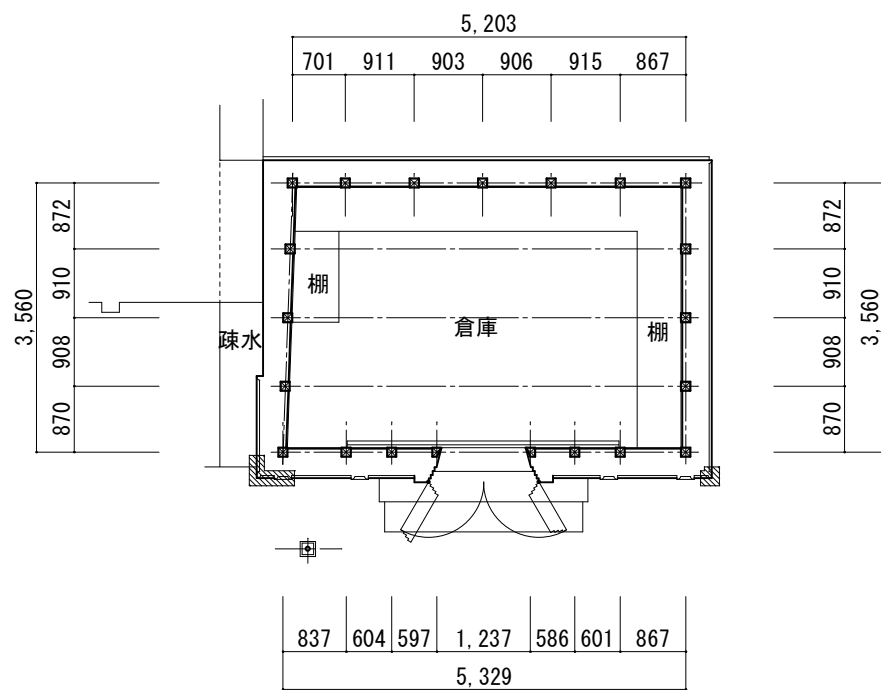
特記		訂正		NPO法人 いわむらでんでんけん		工事名称		図面No.	
				一級建築士事務所 岐阜県 登録 第12273号 一級建築士 登録番号 第121055号 水野 泰昭		市指定文化財勝川家土蔵一修理工事		A-03	
				恵那市岩村町本町209番地4 TEL 0573-32-1263		図面名称		勝川家土蔵1_特記仕様書_(2) 縮尺	
				承認 担当 製図				R 7 年 2 月	



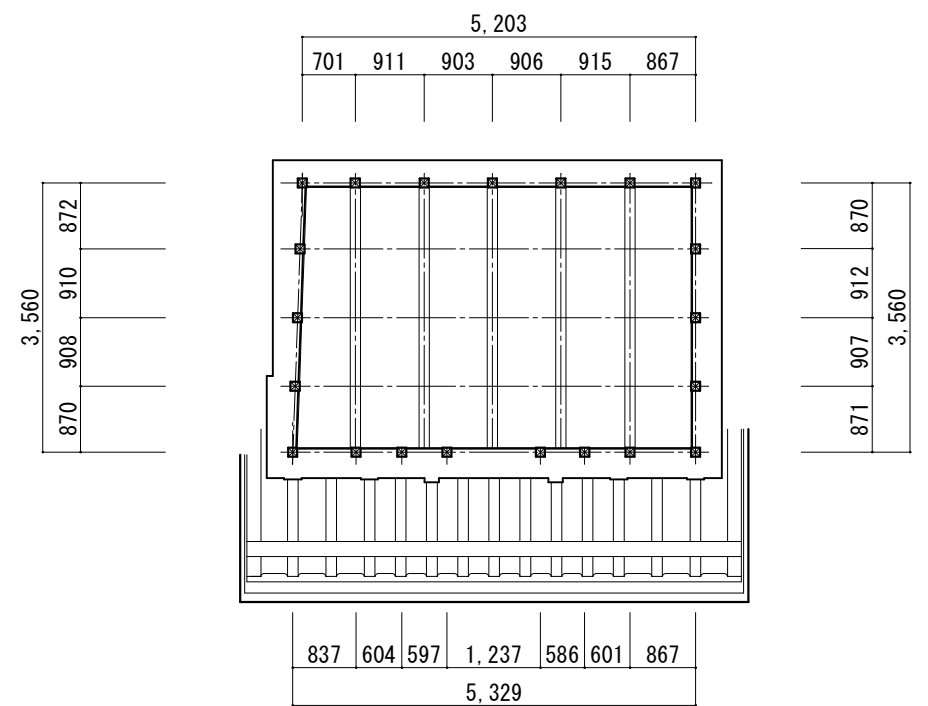
改修 2階平面図 S=1 : 100



改修 2階天井伏図 S=1 : 100



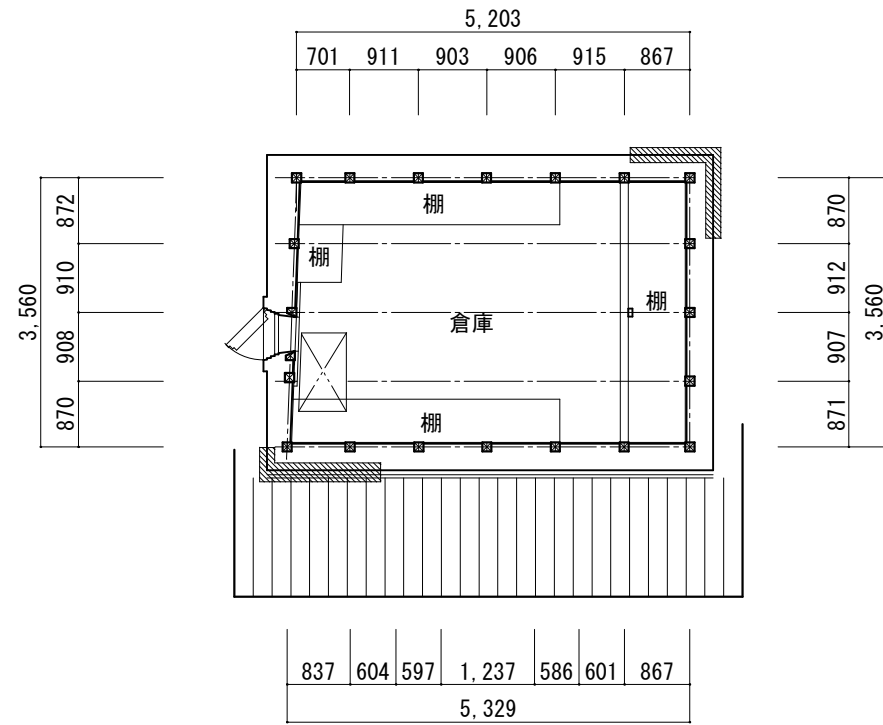
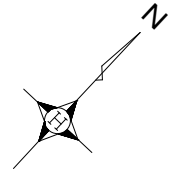
改修 1階平面図 S=1 : 100



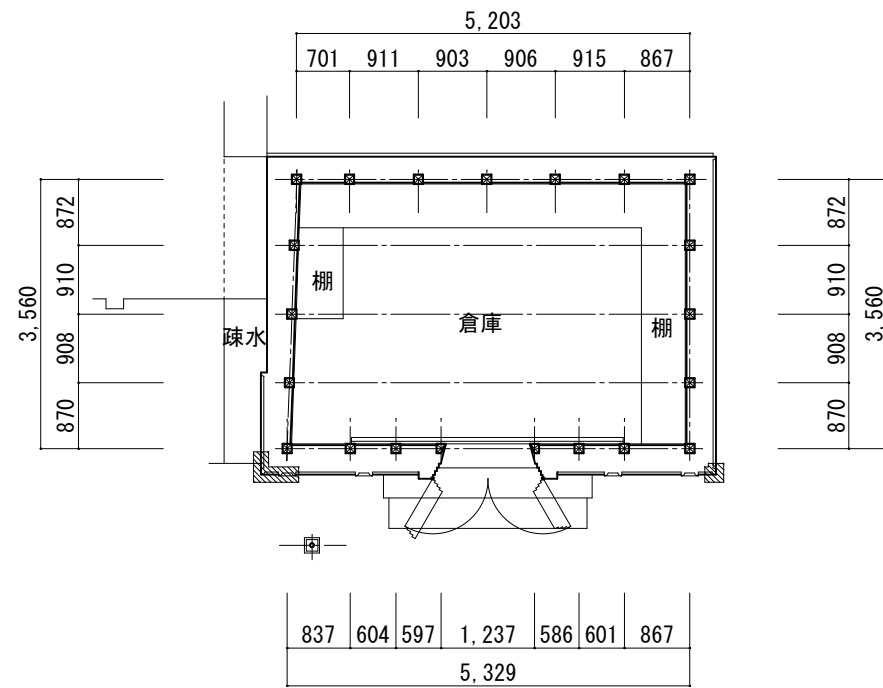
改修 1階天井伏図 S=1 : 100

凡例
補修部分

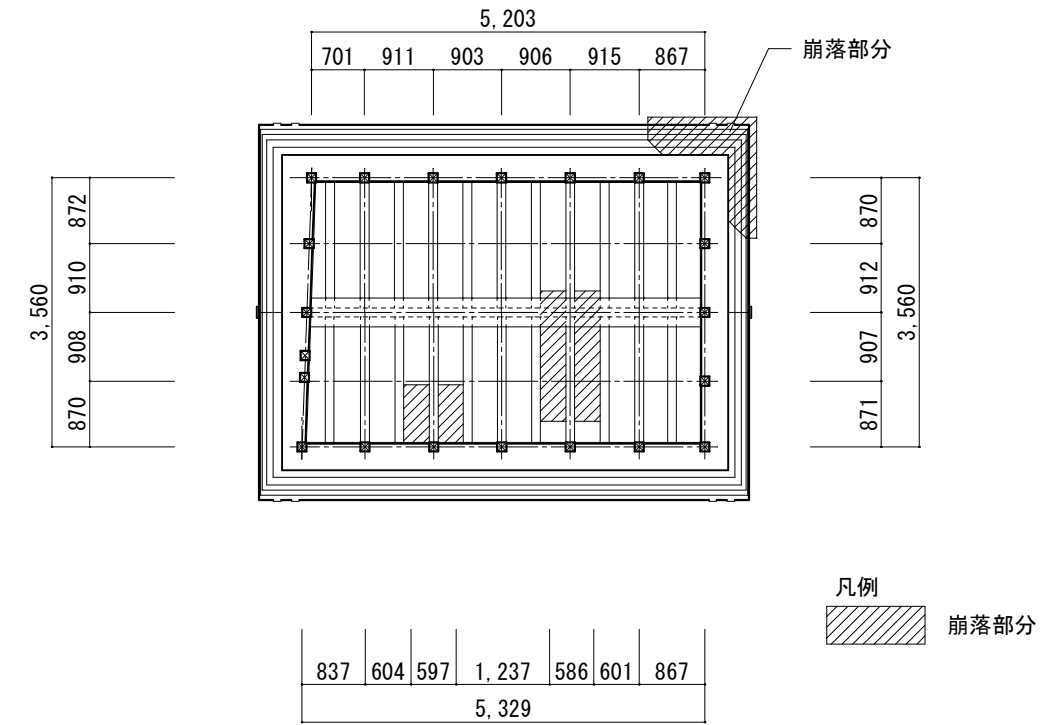
		特記	訂正	NP0法人 いわむらでんでんけん 一級建築士事務所 岐阜県 登録 第12273号 一級建築士 登録番号 第121055号 水野 泰昭 恵那市岩村町本町209番地4 TEL 0573-32-1263 承認 担当 製図	工事名称	市指定文化財勝川家土蔵一修理工事	図面No.	
					図面名称		改修 1・2階平面図 縮尺 S=1:100 改修 1・2階天井伏図	A-04
								令和 7年 2月



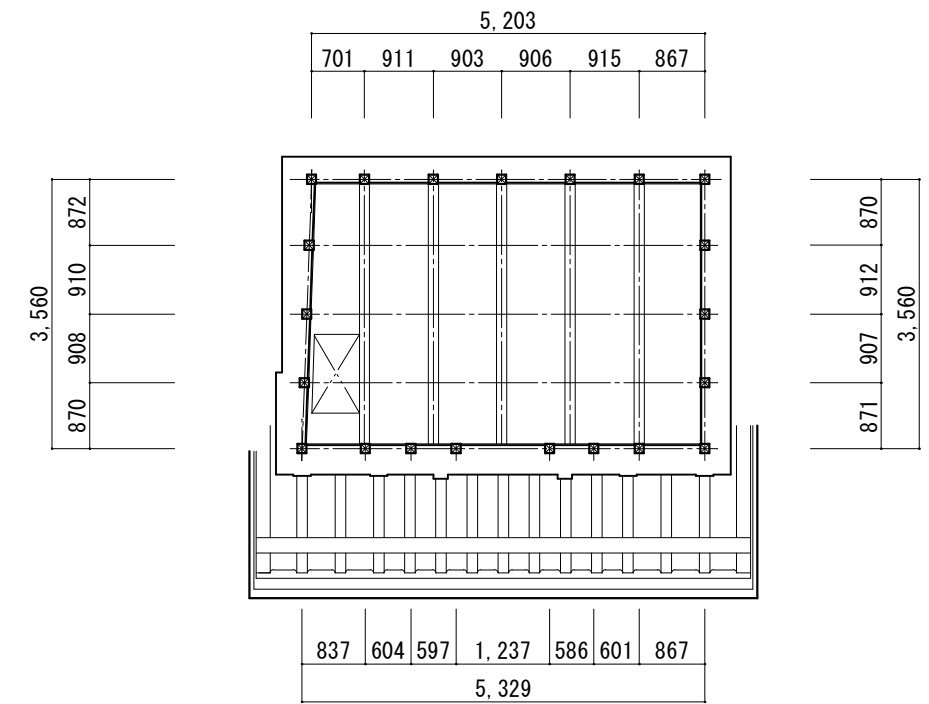
現況 2階平面図 S=1:100



現況 1階平面図 S=1:100




現況	2階天井伏図	S=1 : 100
----	--------	-----------



現況 1階天井伏図 S=1 : 100

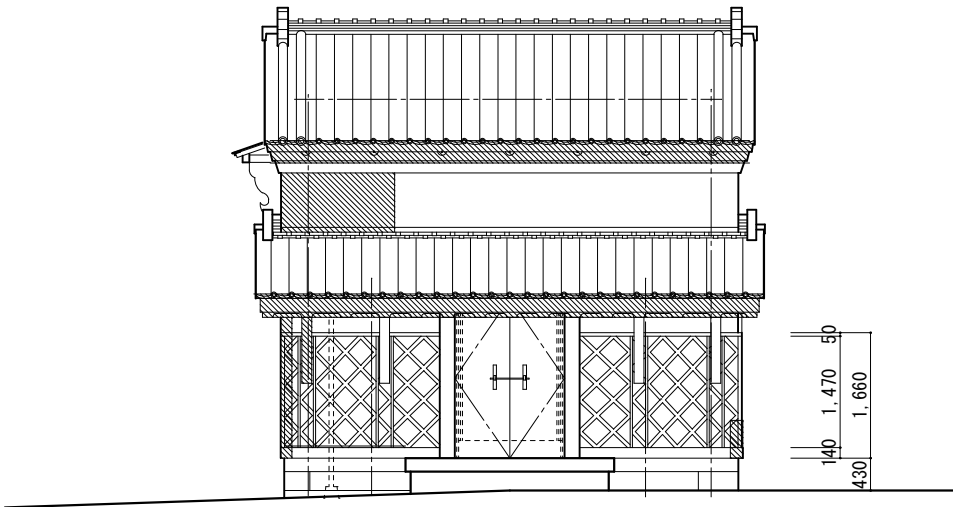
凡例

 補修部分

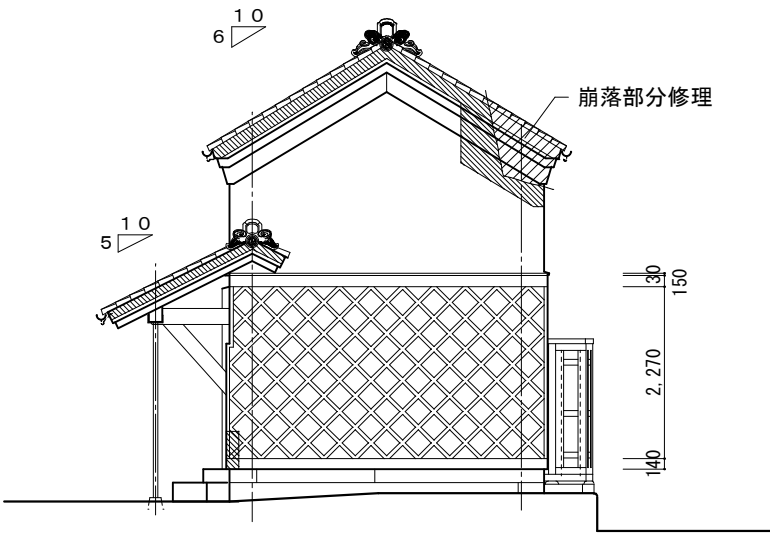
		特記	訂正	NP0法人 いわむらでんでんけん 一級建築士事務所 岐阜県 登録 第12273号 一級建築士 登録番号 第121055号 水野 泰昭 恵那市岩村町本町209番地4 TEL 0573-32-1263 承認 担当 製図	工事名称 市指定文化財勝川家土蔵一修理工事 図面名称 現況 1・2階平面図 縮尺 S=1:100 現況 1・2階天井伏図	図面No. A-05 令和 7年 2月
--	--	----	----	---	--	---------------------------

大屋根 いぶし瓦土葺（古瓦再利用：清掃検査）不足分新設（規格外） 下地土（再利用）
野地板 t12、杉皮 新設

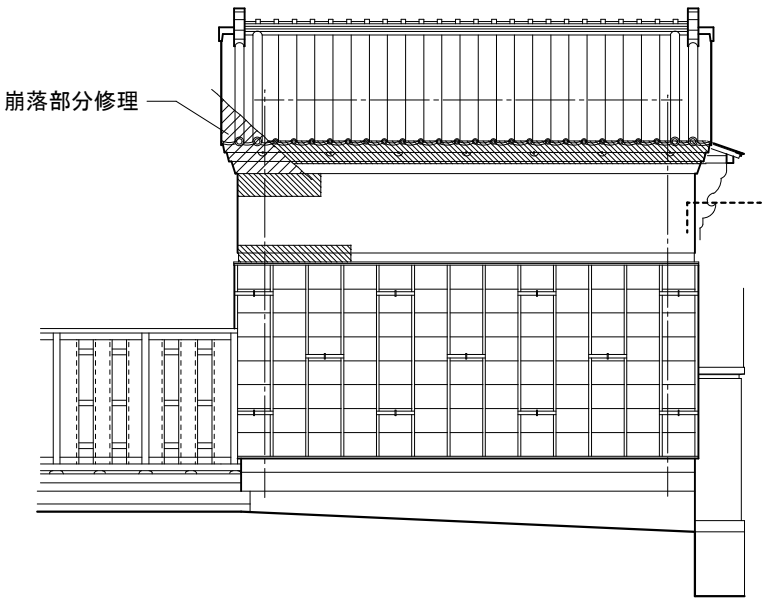
下屋 いぶし瓦土葺（古瓦再利用：清掃検査）不足分新設（規格外） 下地土（再利用）
土居熨斗瓦：古瓦再利用 不足分新設



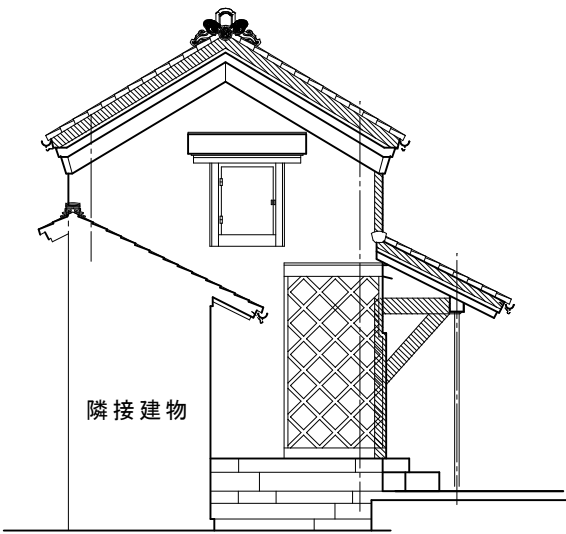
改修 東立面図 S=1 : 100



改修 北立面図 S=1 : 100



改修 西立面図 S=1 : 100



改修 南立面図 S=1 : 100

凡 例
補修部分

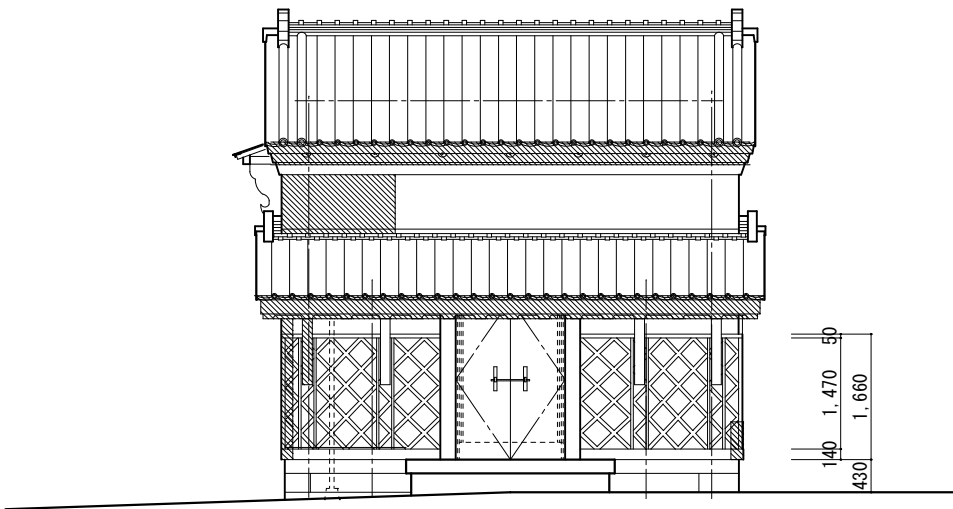
特記		訂正		NPO法人 いわむらでんでんけん		工事名称	市指定文化財勝川家土蔵一修理工事	図面No.
				一級建築士事務所 岐阜県 登録 第12273号 一級建築士 登録番号 第121055号 水野 泰昭				A-06
				恵那市岩村町本町209番地4 TEL 0573-32-1263				令和 7年 2月
				承認	担当	製図	改修 立面図	縮尺 S=1:100

大屋根 いぶし瓦土葺 解体一時撤去保管
野地板、杉皮 解体撤去処分

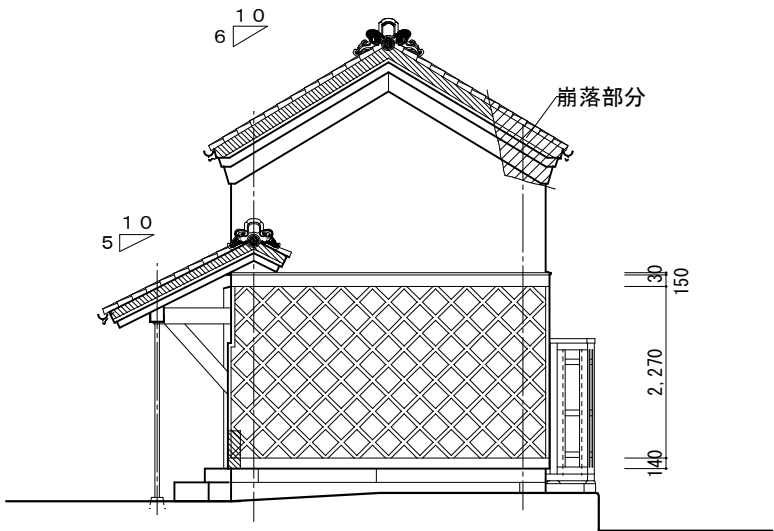
下屋 いぶし瓦土葺 解体一時撤去保管
土居熨斗瓦：撤去保管

下地土撤去保管

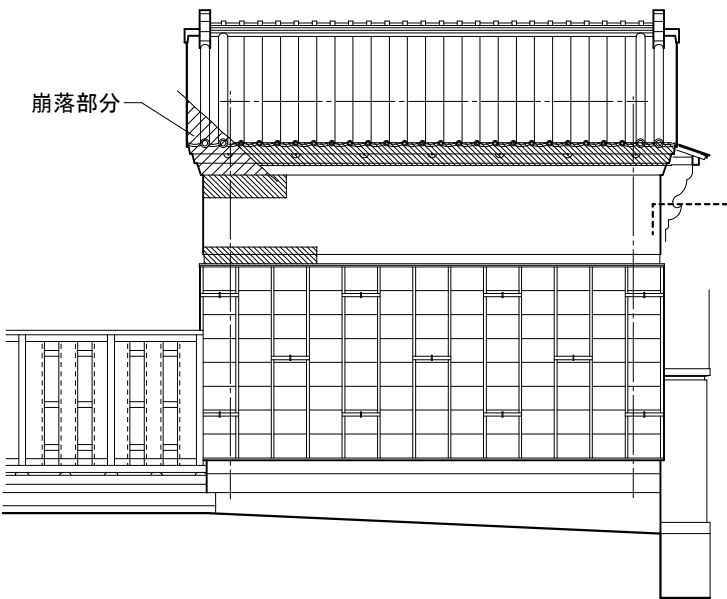
下地土撤去保管



現況 東立面図 S=1 : 100

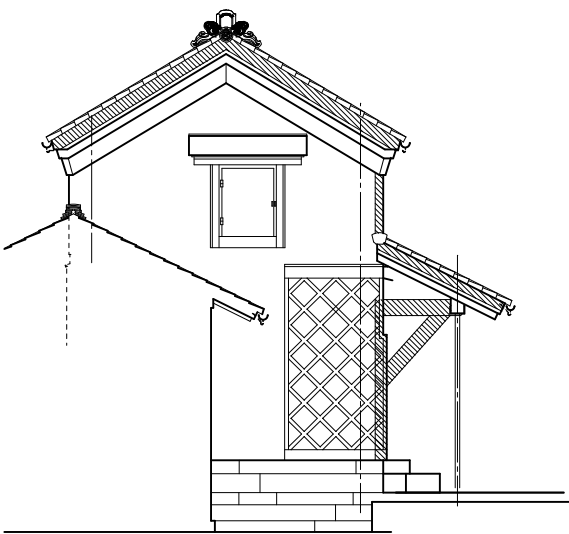


現況 北立面図 S=1 : 100



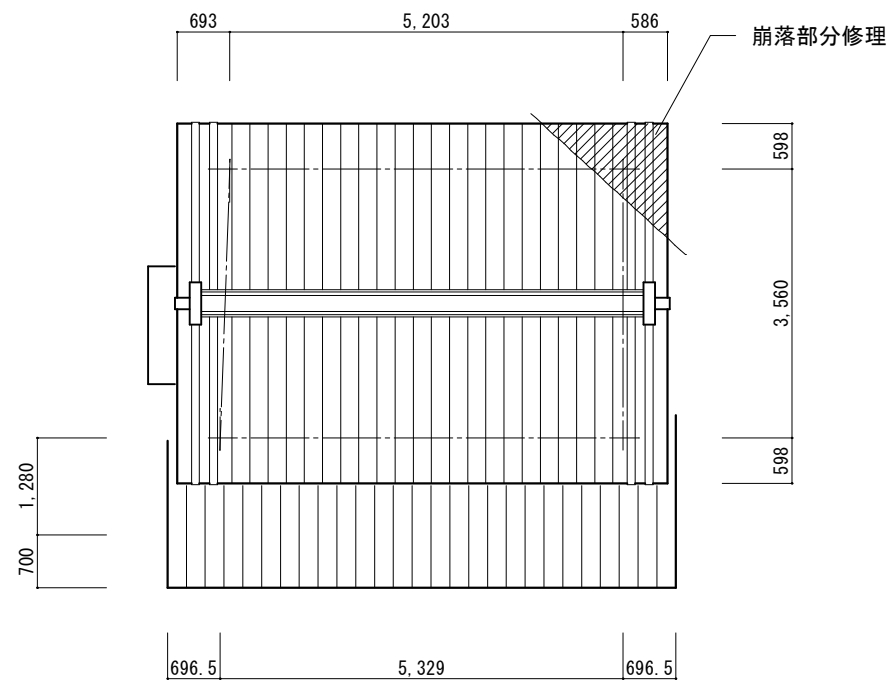
現況 西立面図 S=1 : 100

凡 例
補修部分



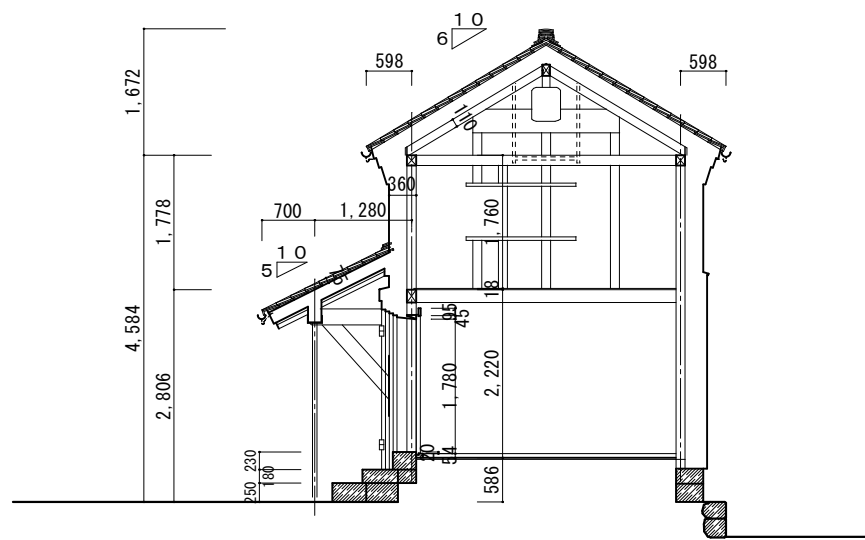
現況 南立面図 S=1 : 100

		特記	訂正	NPO法人 いわむらでんでんけん 一級建築士事務所 岐阜県 登録 第12273号 一級建築士 登録番号 第121055号 水野 泰昭 恵那市岩村町本町209番地4 TEL 0573-32-1263	工事名称	市指定文化財勝川家土蔵一修理工事	図面No.
					図面名称	現況 立面図 縮尺 S=1:100	A-7
					承認	担当	令和 7年 2月

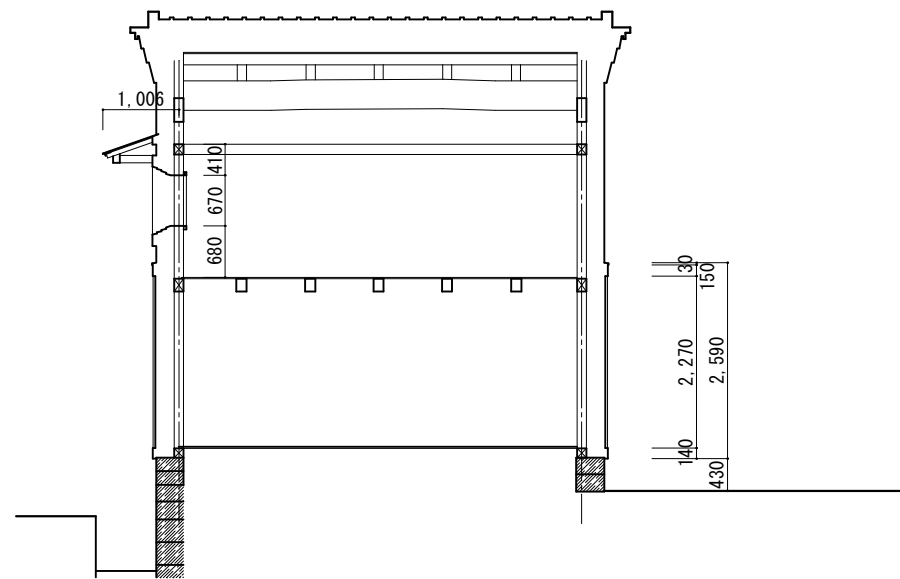


改修 屋根伏図 S=1 : 100

- | | | |
|-----|--|-----------|
| 大屋根 | いぶし瓦土葺 (古瓦再利用 : 清掃検査) 不足分新設 (規格外)
野地板 t12、杉皮 新設 | 下地土 (再利用) |
| 下屋 | いぶし瓦土葺 (古瓦再利用 : 清掃検査) 不足分新設 (規格外)
土居熨斗瓦 : 古瓦再利用 不足分新設 | 下地土 (再利用) |

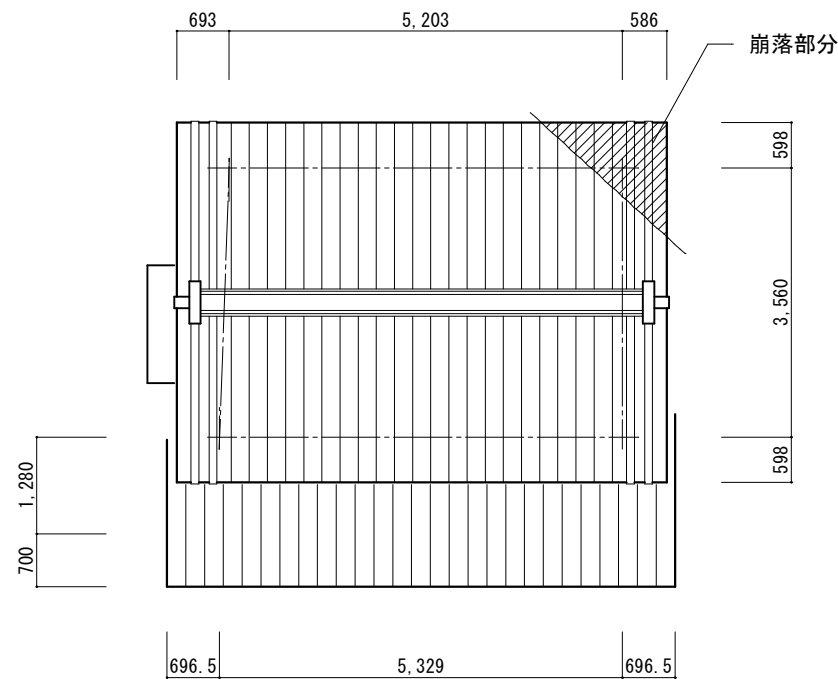


改修 断面図 S=1 : 100

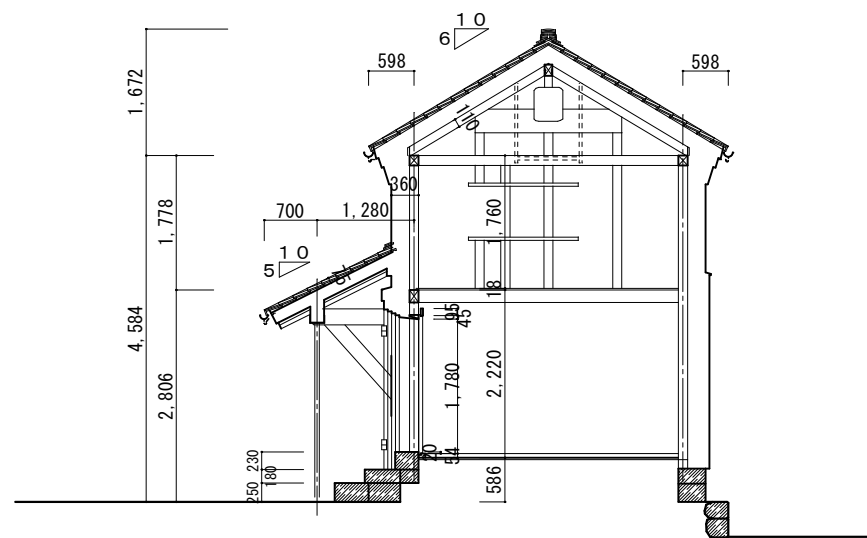


改修 断面図 S=1 : 100

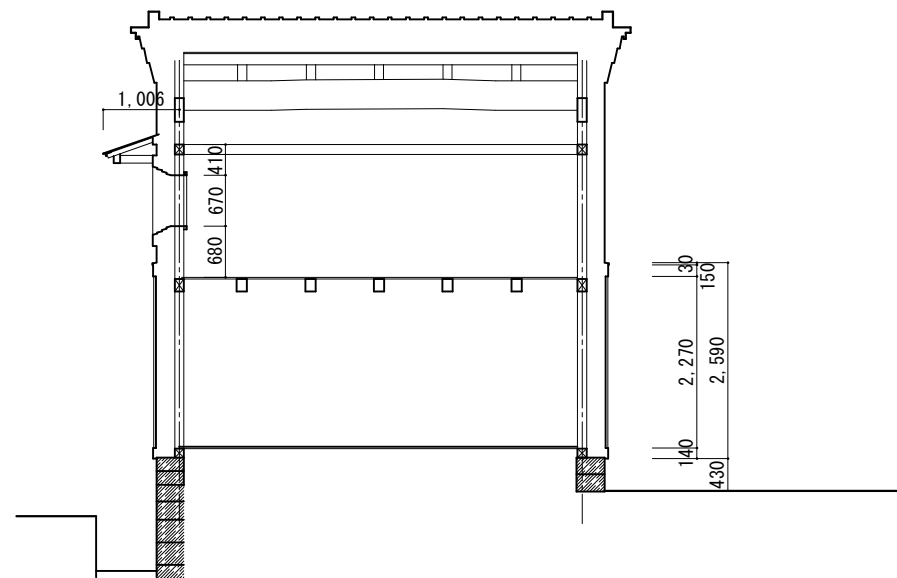
		特記	訂正	NPO法人 いわむらでんでんけん 一級建築士事務所 岐阜県 登録 第12273号 一級建築士 登録番号 第121055号 水野 泰昭 恵那市岩村町本町209番地4 TEL 0573-32-1263	工事名称 市指定文化財勝川家土蔵一修理工事	図面No. A-08 令和 7年 2月
				承認 担当 製図	図面名称 改修 屋根伏図 縮尺 S=1:100 改修 断面図	



現況 屋根伏図 S=1 : 100



現況 断面図 S=1 : 100



現況 断面図 S=1 : 100

		特記	訂正	NP0法人 いわむらでんでんけん 一級建築士事務所 岐阜県 登録 第12273号 一級建築士 登録番号 第121055号 水野 泰昭 恵那市岩村町本町209番地4 TEL 0573-32-1263 承認 担当 製図	工事名称 市指定文化財勝川家土蔵一修理工事	図面No. A-09
					図面名称 現況 屋根伏図 縮尺 S=1:100 現況 断面図	令和 7年 2月